

# 道徳科学習指導案（1年）

1 主題名 「みんなの ための きまり」 C-12 規則の尊重

2 資料名 「きいろいベンチ」（出典 しょうがく どうとく ゆたかなところ 1ねん）

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値

本主題は、学習指導要領のC-（12）「規則の尊重」の「約束やきまりをまもり、みんなが使う物を大切にすること」に基づいたものである。低学年の子どもたちは、約束やきまりについて分かっているが、楽しさを優先させ自己中心的な行動をしがちである。約束やきまりがあることで、自分だけではなくみんなが安心して気持ちよく生活できることを理解し、それをしっかり守っていかうとする意欲や態度を育てることが大切である。そして約束やきまりを守るよさを理解した上で、みんなで使う場所や物を進んで大切にしていけることも意識させながら生活させたい。

（2）児童の実態

（略）

（3）教材について

降り続いた雨がやみ、こうたろうとてつおは近くの公園へ飛行機を飛ばしに出かけた。できるだけ遠くに飛ばそうと、ベンチに土足で上がり、そこから飛行機を何度も何度も夢中で飛ばす。ブランコ遊びをしている途中、5歳くらいの女の子が、2人が土足で汚した泥だらけのベンチに座り、スカートを汚してしまう。おばあさんがその女の子のスカートについている泥を拭いてあげるのを見て、たかしとてつおの2人は「はっ」と顔を見合わせた。

本資料には、約束やきまりを守れなかった登場人物が、他者に迷惑をかけたことを知って、自分の行動を振り返る姿が鮮明に描かれている。

4 指導の工夫

○事前指導として

- ・仲良く遊べるように、生活科の「みんなとなかよくなりたいな」「がっこうだいすき」で、遊具の遊び方や、楽しく遊ぶための決まりについて学習した。
- ・主人公達が夢中で飛行機を飛ばすことに共感できるように、生活科の「むかしから つたわるあそびをたのしもう」の中で、紙飛行機を飛ばす活動を設定する。
- ・日頃から気持ちよく生活できるように、机の周りの整理整頓、トイレ水道の使い方を指導しておく。

○本時の学習として

〈導入〉

- ・本時の学習への問題意識が高まるように、みんなで使うものには、約束やきまりがたくさんあることを認識させる。

〈展開〉

- ・資料の内容を確実に理解できるように、紙芝居を聞いて範読をする。
- ・場面や内容を把握できるように、登場人物の絵や挿絵を提示する。

- ・登場人物の気持ちを視覚的に理解できるように、顔マークを提示する。
- ・主人公達の気持ちを引き出すために、教師と役割演技をし、発表させる。
- ・道徳的価値について考えを深められるように、補助発問や意図的指名をする。

〈終末〉

- ・自分との関わりで考えが深められるように、終末ではワークシートを使い、本時の学習で学んだことを整理させる。

○事後指導として

- ・学期末の学級活動の時間に、みんなが使うものを大切にできたか振り返りを行っていく。
- ・日頃から、約束やきまりが守られているか確認する。

## 5 校内研修との関わり

児童の日常生活から約束やきまりが守れない場面を取り上げ、問題意識をもたせる。役割演技や全体での話し合いを踏まえ、本時で学習したことを振り返る時間を確保する。これらの工夫をして自分事として考えさせることは、「主体的に学び、自分の考えを表現できる児童の育成」につながるといえる。

## 6 本時の学習

### (1) ねらい

約束やきまりのよさを感じ、守っていこうとする心情を育む。

### (2) 授業の視点

役割演技をしたことは、主人公達に共感させ、気持ちを表出させる上で有効であったか。

### (3) 準備

紙芝居 ワークシート 場面絵 顔マーク 登場人物の絵

### (4) 人権教育の視点

役割演技や全体で話し合う際、肯定的な声かけをしたり、共感的な雰囲気を作ったりすることで、自分の思いや考えを素直に表現する。

### (5) 展開

過程	学習活動	時間	○基本発問◎中心発問☆補助発問 ・予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。	5	○みんなで使うものには、どんな約束や決まりがあるでしょう。 ・ブランコ…20往復で交代。 ・すべり台…逆走しない。 ・学校の机椅子…椅子を入れる。 ・水道…出しっぱなしにしない。 ・トイレ…ふたをする。流す。 ※約束やきまりがたくさんある。	・児童が内容を理解しやすいように、写真を提示しながら確認する。 ・みんなで使うものには約束やきまりがたくさんあることを認識させ、約束やきまりが何のためにあるのかという問題意識を持たせる。
めあて 約束やきまりが何のためにあるか考えよう。				

<p>展開</p>	<p>2 資料「きいろいベンチ」の紙芝居を聞く</p> <p>3 教材を通して道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p>	<p>3 0</p>	<p>○ベンチの上から飛行機を飛ばして遊んでいる 2 人はどのような気持ちだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいなあ。</li> <li>・高いところから飛ばすと遠くまで飛ぶな。</li> <li>・いいことを思いついたな。</li> <li>・誰もいないからベンチに上っていいよね。</li> </ul> <p>○女の子はどんな気持ちだったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚くなってかなしい。</li> <li>・お母さんにおこられちゃう。</li> <li>・だれがこんなにどろだらけにしたんだろう。</li> <li>・怒りたい気持ち。</li> </ul> <p>☆そもそも、何でスカートが汚れたのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子たちが、靴でベンチに上がって汚したから。</li> </ul> <p>◎はっとして顔を見あわせた時、男の子二人はどんな気持ちだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子がスカートを汚してしまった。どうしよう。</li> <li>・にげようかな。</li> <li>・しらんぷりしておこう。</li> <li>・怒られる。</li> <li>・僕たちのせいだ。</li> <li>・靴で乗ったらいけなかったな。</li> <li>・謝ろうかな。</li> <li>・つぎからはやらない。</li> <li>・ベンチのどろをきれいにしないと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が動作化して見せ、ベンチに上がって遊ぶ二人に共感させ、公德を守れない時の感じ方や考え方をさせせる。</li> <li>・靴で上がっていけないという意見が出たら、夢中で何度も何度もとばしたことについて触れ、楽しい気持ちが勝っていたことを押さえる。【人間理解】</li> <li>・楽しい顔マークを使って男の子達の気持ちを分かりやすく表す。</li> <li>・男の子二人と女の子の気持ちを板書することで、内容を比較し考えを深められるようにする。【他者理解】</li> <li>・悲しい顔マークを使って女の子の気持ちを分かりやすく表す。</li> <li>・「ベンチを汚したことがきまりを守らなかったこと」であることを押さえる。</li> <li>・ワークシートに書かせ、様々な意見があること知するために発表させる。</li> <li>・発表の際に、教師と役割演技をし、意見を出しやすくする。</li> <li>・児童の発言を分類整理して板書することで、多面的に考えられるようにする【価値理解】</li> <li>・発表しない児童にも似ている意見に挙手をさせる。</li> <li>・全体の前で発表できない児童も、自分の意見が言えるよう、隣とペアで役割演技をする。</li> <li>・悲しい顔マークを使って</li> </ul>
-----------	--	------------	---	---

	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。</p>		<p>☆男の子二人は、公園のどんなきまりが守れなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチに土足で乗った。</li> <li>・ブランコは、座ってこぐ。</li> </ul> <p>☆男の子たちは、土足でベンチに上がってはいけないことを知っていたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知っていたのに、楽しいからやってしまった。</li> </ul> <p>○女の子のように、みんなで使うもので嫌な思いをしたことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランコで待っていたのに代わってもらえなかった。</li> <li>・すべり台がどろだらけだった。</li> <li>・落ちている雑巾をふんで滑った。</li> <li>・トイレが流してなかった。</li> <li>・水道が水浸しだった。</li> </ul> <p>○約束やきまりは、なんのためにあるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが気持ちよく生活するため。</li> <li>・後に使う人が嫌な気持ちにならないようにするため。</li> </ul>	<p>男の子達の気持ちを分かりやすく表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・守れなかったきまりを確認することで、楽しい気持ちを優先してしまい、きまりが守れなくなることがあることに気がつかせる。【人間理解】</li> <li>・「楽しかったら、土足で上ったっていいんじゃない？」</li> <li>・「誰もいかなかったらいいんじゃない？」と問い返すことにより、約束やきまりを守らないと後で困る人が出てくることに気が付かせる。</li> <li>・服を汚してしまった女の子に共感させ、公共物を使用して嫌な気持ちになるときの感じ方や考え方をさせせる。</li> <li>・導入で提示した写真を状態が悪い方に返し、視覚的に分かりやすくし、自己の今までの使い方を振り返る。【自己理解】</li> </ul>
<p>終末</p>	<p>5本時を振り返り、みんなで使うものの約束やきまりについてまとめる。</p>	<p>10</p>	<p>○今日の授業で分かった事はなんですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しくても決まりを破ると、嫌な気持ちになる人が出てくるから、決まりは守らなきゃいけない。</li> <li>・みんなのことを考えて決まりを守ろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを使って自分の考えをまとめさせる。</li> <li>・意図的指名をし、自分の言葉で書いているものを紹介する。</li> <li>・導入で用いた絵をよい状態にもどす。</li> </ul>

- 評価
- ・きまりについて多面的多角的に考えられたか。
  - ・身の回りのきまりにつなげて、約束やきまりを守っていきたいと思うようになったか。

7. 板書計画

だい13.かい

めあて

やくそくや きまりが なのためにあるのか かんがえよう

みのまわりのも






きいろいべんち



むちゅうでかみひこうきを とばしていたとき

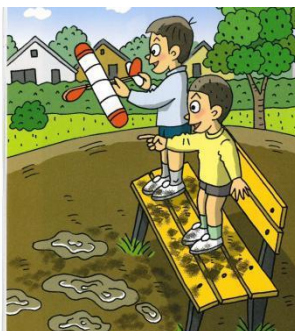
・楽しいなあ。

・高いところから飛ばすと遠くまで飛ぶな。

・いいことを思いついたな。



・だれもないからベンチに上っていいよね。



×ベンチにくつでのった ブランコ立ちのりした

はっと かおを 見あわせたとき

女の子の気持ち

- ・スカートがよごれちゃった。
- ・ぼくたちのせいだ
- ・にげようかな
- ・あやまろうかな
- ・くつでのったらいけなかった
- ・ほかのつかう人のことをかんがえなかった。
- ・きれいにしないとかな



- ・いやな気持ち
- ・よごれてかなしい
- ・おかあさんにおこられる
- ・おこりたい



やくそくや きまり

みんなが 気もちよく せいかつする ため

わかったこと

- ・あとで つかう人が いやな気持ちにならないように きれいにつかいたい。
- ・みんなの ことを かんがえて つかう。